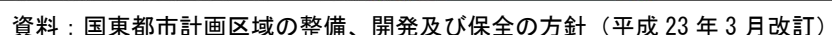


(1) 国東都市計画区域の整備、開発及び保全の方針／平成23年3月改訂

歴史や文化資源を生活のなかに活かし、職住近接の多様なライフスタイルを実現する生活都市を目指す。このため、伝統ある歴史、文化、風土と農村風景との調和を図るとともに、周辺都市と観光面の連携をとりながら都市機能の集約化及び豊かな自然環境を活かしたコンパクトな都市づくりを図る。

南部の国道213号沿道の工業地、住宅地	沿道型店舗の集約的な立地と誘導を図るため、適切な用途地域の見直しを検討
鶴川地区など中心部の住宅地	- 安全で快適な居住環境の形成 - 周辺部の無秩序な宅地化の防止
都市内の緑地又は都市の風致の維持	- 安国寺公園（安国寺集落遺跡公園）の維持・保全 - 黒津崎をはじめとする良好な海岸線、田深川沿いの良好な水辺環境の維持・保全
優良な農地との健全な調和	吉木地区、小原地区、黒津地区など市街地周辺の優良な農地の保全
自然環境の保全	- 国東半島県立自然公園に属する市街地後背の丘陵地、海岸線の保全 - 田深川、安国寺公園（安国寺集落遺跡公園）の保全と活用
計画的な都市的土地利用の実現	農地と住宅が混在する農業集落での良好な集落環境の保全（特に、国道 213 号沿道の黒津地区、小原地区などにおける農村風景と良好な集落環境の保全）

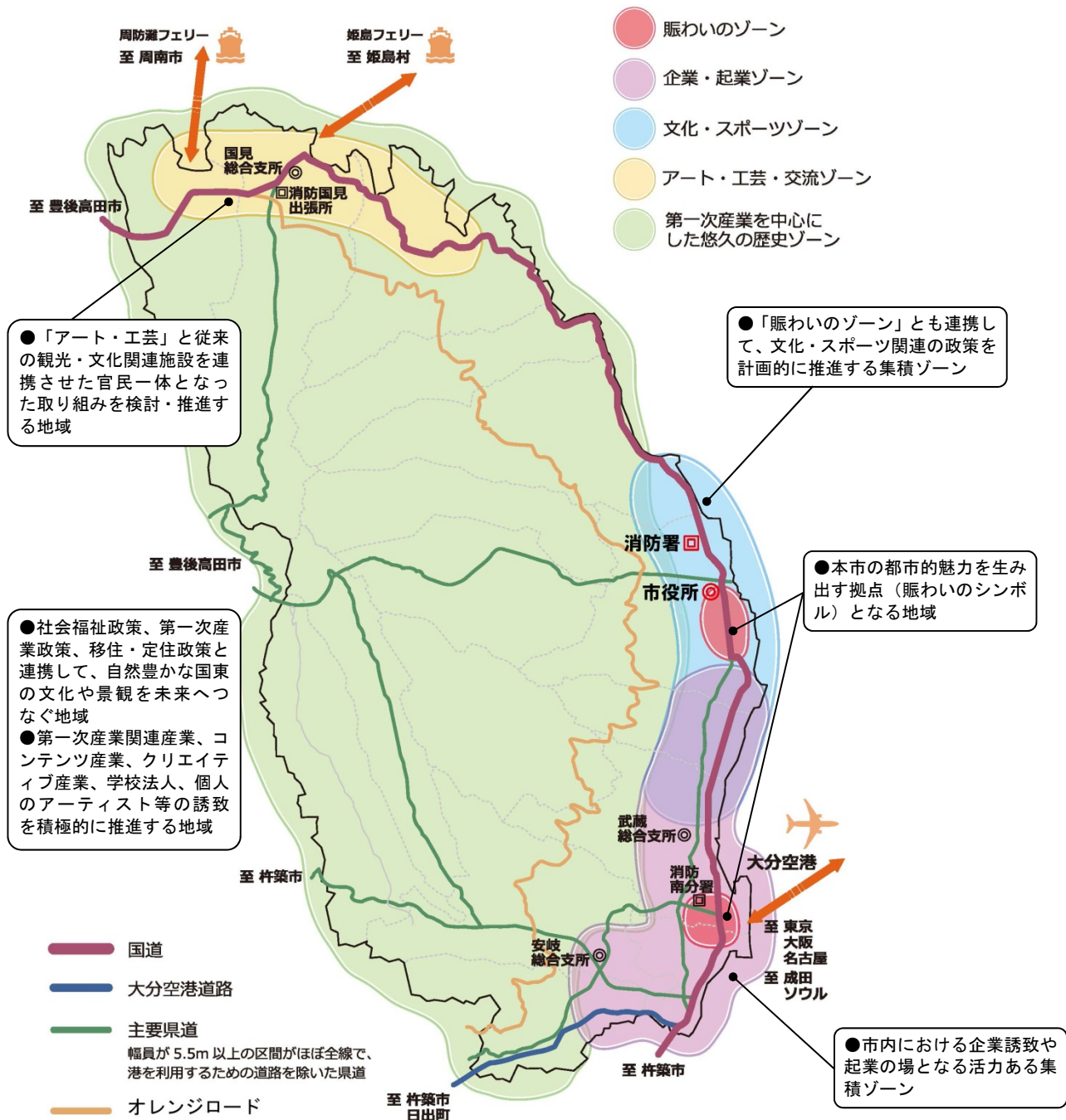


(2) 第2次国東市総合計画／平成26年3月策定

まちづくり振興（土地利用）の基本方針として、

「悠久の歴史」と「賑わいの空間」をうまく配置させることを目指すとともに、耕地や林野の環境保全に果たす役割の重大性や文化保全の意味からも大規模な開発を抑制し、一定の選別による最小限度の土地開発による賑わいの空間づくりを検討していく

としている。



「これからの国東市のための」まちづくり振興（土地利用）方針図

資料：第2次国東市総合計画

(3) 国東市まち・ひと・しごと創生総合戦略／平成 27 年 10 月策定

【人口ビジョン】

○国東市人口ビジョン目標値：人口 2. 1 万人（2060 年）

【国東市まち・ひと・しごと創生総合戦略】

○戦略の期間：平成 27 年度～平成 31 年度（5 年間）

○基本目標

①若い世代が結婚・出産・子育てに希望を持てる環境をつくる

「くにさきで親になる」ことによりこびとその実現

「世界農業遺産の里の豊かな自然の中でのびのび学べる」くにさきの実現

②国東市へのひとの流れをつくる

「住んでみたいと思える くにさき」の実現

「何度でも訪れたい 神仏習合 悠久の歴史の里 くにさき」の実現

③安定した雇用の創出

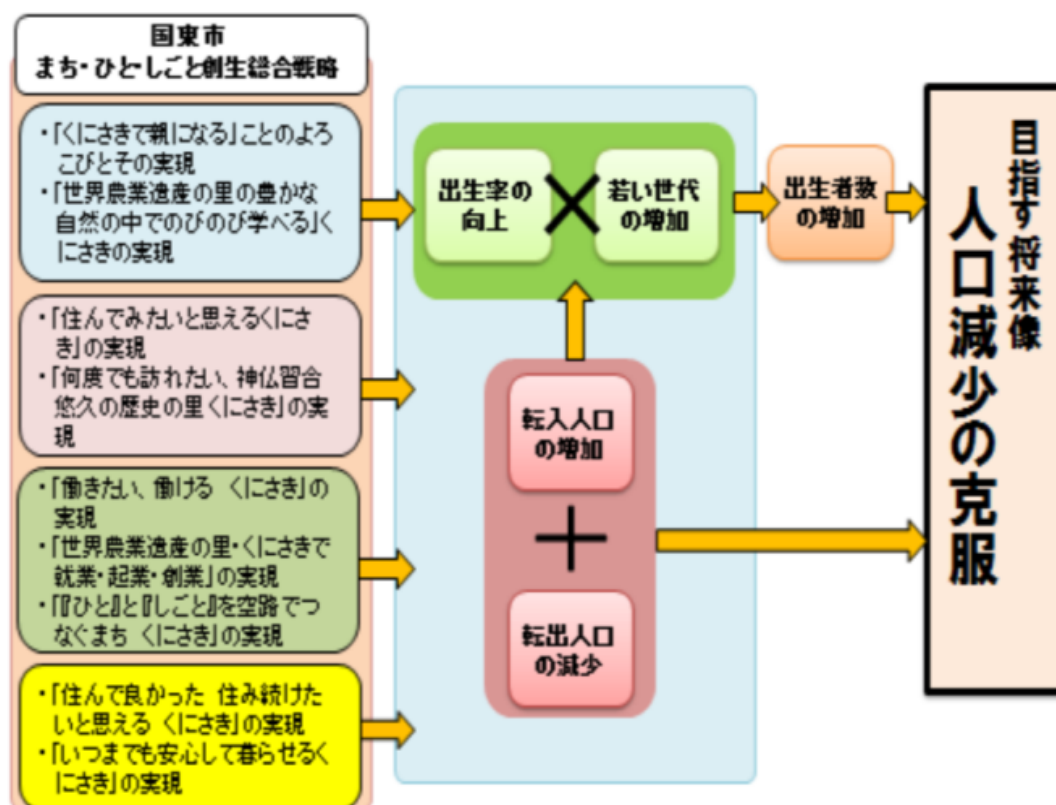
「働きたい、働ける くにさき」の実現

「世界農業遺産の里・くにさきで就業・起業・創業」の実現

④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

「住んで良かった 住み続けたいと思える くにさき」の実現

「いつまでも安心して暮らせる くにさき」の実現



国東市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 27 年 10 月策定）